

◆郡山折立線(大野田工区)代替路整備《市道大野田一丁目1号線》の検討状況を報告します◆

【概要】

「都市計画道路郡山折立線(大野田工区)」の整備に伴い中央分離帯を設置します。それにより、南北からの郡山折立線への流入車両右左折(直進)が制限されますが、大野田一丁目1号線を利用した迂回には位置図に示したような問題や地域からの意見があるため、「既存道路の安全対策」の検討を進めております。

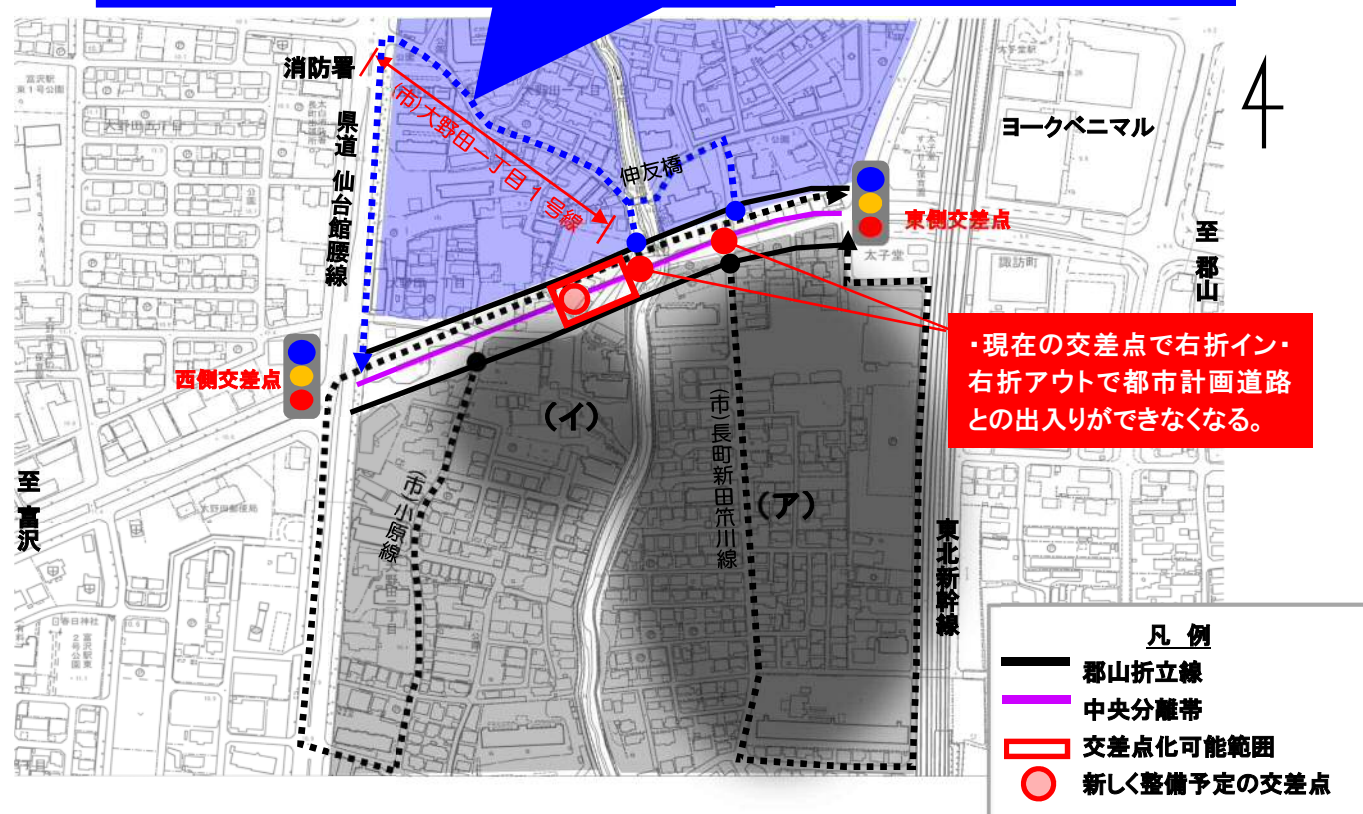
【位置図】

【問題点】

- ・富沢方面へ最大 310m の迂回が生じるとともに、抜け道となる可能性があるため、交通量の増加が想定される。
  - ・幅員が狭く、歩行空間が無く、車のすれ違いもしにくい。
- ※大野田小学校の通学路に指定されている。

【地域からの意見】

- ・歩行者の安全対策(伸友橋も含む)
- ・抜け道とならないようにする(道路を広げ過ぎない。)



・現在の交差点で右折イン・右折アウトで都市計画道路との出入りができなくなる。

【大野田一丁目1号線の想定している整備案】

下記の課題を踏まえ、整備方針及び整備内容を検討しております。

課題

- (1) 歩行空間が無いため、歩行者の安全を確保する。
- (2) 抜け道としての利用を抑えるとともに、車両の速度を抑える。
- (3) 車同士のすれ違いをし易くする。

整備方針

通過車両を呼び込まないとともに、歩行者及び利用する車の安全性を高める。

整備内容

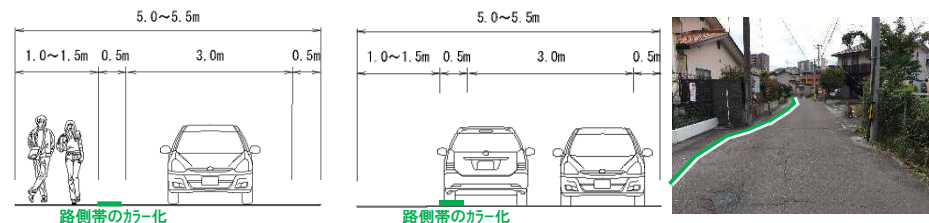
- (1) 歩行空間を現在の道路内の北側に設ける。
- (2) 車道幅員を広げ過ぎない。(拡幅などは実施せず、狭い箇所はそのまま活用する。)
- (3) 仙台市有地を活用し、すれ違いスペースを整備する。

【整備内容(案)】

【エリア②】

・歩行空間(W=1.0~1.5m,路側帯のカラー化)を整備。

(歩行者が居る場合) (歩行者が居ない場合)

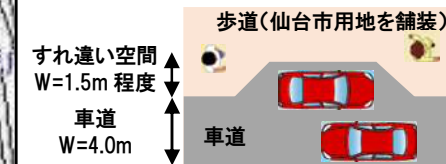


【エリア④】

・砂利敷きの仙台市有地を舗装し、歩行空間として利用する。



・車のすれ違い空間を複数箇所整備。(イメージ下記)

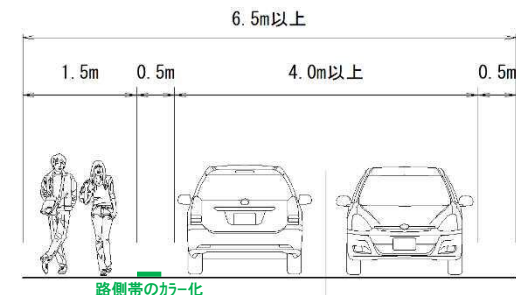


消防署



【エリア①】

・歩行空間(W=1.5m, 路側帯のカラー化)を整備。



【エリア③】

・車1台が通行できる幅員(W=3.0m)以外を歩行空間(W=1.0m, 路側帯のカラー化)として整備。



※最小幅員箇所かつ見通しも悪いことから、車両の速度が抑えられており、そのメリットを活かすため、拡幅は行わない。

【伸友橋】

・歩行空間を整備するための検討を実施中。

【今後の検討内容の説明について】

- ・代替路整備に関しましては、更に検討を進め、工事だよりや地域説明会などで説明させていただきます。
- ・長町新田策川線((ア)エリア)及び小原線((イ)エリア)の代替路のルート(線形)に関しましては、土地所有者との話し合いや限られた用地の中で検討していることから、概ね決定した段階で公表させていただきます。

●お問い合わせ先

・都市計画道路整備、代替路整備に関して：仙台市 建設局道路部 南道路建設課 道路第二係 松田(☎022-214-8409)